はじまりの風 (2)

蜂飼 耳

次の表は、教科書本文の内容をまとめたものである。

場面１	場面２	場面３
中学生になったばかりのある日、学校の廊下 レンは美術室へと続く廊下に絵が掛けられていることに気づき立ち止まった。絵は町の一角にあるいちょう並木と時計を描いたもので、レンはその絵に引きこまれた。 レンは中学生になったら新しいことを始めたいと思っていたが、何を始めたらよいかがわからず、周りの友達が小学生のうちからやっていた音楽やスポーツを続ける中、取り残されたような気がしていた。	**次の日曜日の午後、図書館からの帰り道** 図書館からの帰り道、レンはいちょう並木を訪れた。並木に沿ってしばらく歩き、時計が見えてきたころ、レンは絵に描かれていたのが自分が今立っている場所からの風景だと気づいた。絵の作者と同じ場所に立って風景を見ていることに、レンは少しうれしくなった。	**月曜日、学校の廊下** また絵を見ていたレンは、美術の先生に声をかけられた。絵に見えない風が描かれているということを聞いたレンは、自分も絵を描いてみたいと思った。レンの心にざわざわと風が吹き始めた。

場面

物語や小説は、時や場所などによっていくつかの**場面**に分けることができる。登場人物の心情は場面ごとに変化することがある。次のような表現に注目して心情の変化を捉えるとよい。

・心情を直接表す表現
（例）取り残されたような気がした。

・心情がわかる発言、行動
（例）さっきよりもずっと軽い足取りで、……

・人物の心情を反映した風景や場面の描写（情景描写）
（例）窓から差しこむ光が少し強くなり、廊下はさっきよりも明るくなった。

確認テスト　教科書本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) 次の各文の出来事を、本文の流れに沿って並べかえなさい。

ア　絵の作者が立っていた場所に、今自分も立っているのだと気づいたレンは、軽い足取りで家に帰った。

イ　学校の廊下に掛けられている絵に気づいたレンは、見覚えのある風景を描いたその絵に引きこまれ、絵を眺めた。

ウ　先生が美術室に入っていった後、もう一度絵を眺めたレンは、確かに見えない風が表現されていると感じた。

〔　　→　　→　　〕

(2) 本文の最後の場面では、廊下に窓から光が差しこむ様子が描かれている。この表現が表すこととして適当なものを選びなさい。

ア　絵の作者が立っていた場所に自分も立つことができたレンが、改めて絵に引きつけられていること。

イ　薄暗い廊下に一人残されたレンが、美術室の中にいる上級生たちに取り残されたような疎外感をもったこと。

ウ　何を始めたらよいかわからずにいたレンが、絵を描いてみようと思い、心に変化が生まれていること。

〔　　〕

(3) 本文の内容に合うものを選びなさい。

ア　中学生になったら絵を描いてみたいとずっと思っていたレンは、なかなか美術部に入る決心がつかず、取り残されたような気がしていた。

イ　学校の廊下に絵が掛けられていることに気づいたレンは、その絵の風景がこれまで見たこともないようなものだったので思わず引きこまれた。

ウ　絵に見えない風が描かれているということを聞いたレンは、自分も絵を描いてみたいと思い、中学校で新しくやってみたいことが見つかった。

〔　　〕